

2018年度「甲南大学経済学会 学生懸賞論文」審査結果報告

厳正な審査の結果、「2018年度 甲南大学経済学会 学生懸賞論文」について、
以下のように決定しましたことを報告いたします。(学籍番号順)

【特賞】 11631403 横井 拓登 他9名(市野ゼミナール)
「労働法の知識が残業を変える」

【佳作】 11531177 下田 吉輝 (中島ゼミナール)
「日本の量的緩和政策の効果の検証 -2013~2018年の分析-」

11531249 中島 竜太 (青木ゼミナール)
「プレミアリーグの成長要因とJリーグの今後」

受賞論文及び以下の論文を『経済学 学生論集』に掲載いたします。

11531279 花木 凌 (寺尾ゼミナール)
「マークポイント方式による持続的なフードバンク活動の実現」

受賞者及び掲載者の表彰式(ならびに発表会)は、以下の通り行います。

日時 : 2019年3月4日(月) 14:40~
場所 : 5号館2階523教室

なお、今回の懸賞論文応募者全員に審査員の審査コメントをお渡ししますので、
コモンルームにお立ち寄り下さい。
特に受賞者及び学生論集掲載者の方には、今後のスケジュールを記した通知書も同時
にお渡ししますので、必ずお立ち寄り下さい。

以上